

令和5年度 第1回 関市公共交通活性化協議会 議事要旨

日時 令和5年6月27日(火) 14:00～15:35
場所 関市総合福祉会館 3階会議室
出席者 ・委員 議案書P1のとおり(21名(うち代理出席1名))
・事務局 都市計画課 長屋 隆司
都市計画課 和田 正樹
都市計画課 中島 諒子

傍聴者 1名

■委嘱状交付

山下副市長より福本雅之委員へ代表交付

■開会

■議事(進行 議長)

議案第1号 令和4年度事業報告

・議案第1号について説明(事務局)

【質疑・意見等】

○学識経験者

・事業報告の実施内容については、口頭説明された具体的な数値や実績を資料にも記載するとよい。(事務局)次年度より反映させていく。

○市民・利用者代表A

・議案書P.4の目標番号4-1の実施内容に「高齢者が利用しやすいように」と記載があるが、時代的にも「高齢者」と表現するのではなく、障がい者なども含めた「誰もが使いやすいように」といった表現にしてもらえるとよいのでは。(事務局)そのように修正する。

【採決】承認

議案第2号 令和4年度決算及び会計監査報告

・議案第2号について説明(事務局)

【採決】承認

議案第3号 令和5年度事業計画(案)

・議案第3号について説明(事務局)

【質疑・意見等】

○市民・利用者代表B

・千疋線を利用している市民2～3人から、買物のためにマーゴを経由してほしいとの要望を聞いている。

(事務局) 千疋線は利用者も少なく、何か利用促進となる対策をしたいと考えている。マーゴを経由していない理由としては、過去にマーゴを経由するルートとなっていたが、当時はわかきプラザ等を利用する方が多く、遠回りになるとの理由から、現行ルートに変更した経緯があるが、ニーズも変わるため、今年度乗降調査等を実施して、ニーズに対応できるダイヤを検討したい。

○市民・利用者代表C

・P. 9の「2-3学生通学支援補助制度の導入」に関して、高速名古屋線の通学補助について、小中学生の進路が多様化しており、私立中学への進学が多くなってきているので、支援対象として小中学校も含めてもらえないか。

(事務局) 本制度の趣旨が、大学・専門学校への進学を機に市外転出が発生し、若者流出につながることを懸念されるため、その対策として開始した経緯があり、範囲を中学校まで拡大する場合、要綱改正や制度設計の見直し、予算確保も必要となってくるので、該当者数の把握をしながら慎重に検討したい。

(学識経験者) より若い人たちに対して支援すべきだと考える。何故なら所得は年齢が進むごとに増えていく。小中学生を持つ親は比較的若い保護者である傾向であるため、費用負担が大きくなる。そういった保護者を対象として支援することが所得に対する効果が高くなるということと、通学が大変なので、市外へ出ようとするのは、比較的若い世代に多くあり、持ち家を持っていない若い世帯だと、名古屋市や岐阜市で家を購入し市外へ転出されてしまう恐れがあり、好きで私学を選択したという考え方もあるが、制度の趣旨からも外れているとは思わないので是非一考していただきたい。

・P. 10の「4-5学生を対象とした公共交通利用のきっかけづくり」でチラシ配布を中学校、高校から範囲を広げてもらい、小学校にも配布を検討してもらいたい。

(学識経験者) 小学校から私学へ通う児童だとそれほどの該当者がいないと思うので、もし、配布するとしたら市内の進学塾に制度周知を行うとよい。

・長良川鉄道の小学生の社会見学が楽しそうで良いイベントだが、学校が選ばれてしまっているのが残念なので、全小学校対象もしくは、バスの体験乗車だけでも実施を検討してもらいたい。小学校のうちに鉄道やバスの乗り方を体験してもらいたい。

(事務局) 市内の全小学校に案内をして、希望のあった学校は全校受け入れをしている。今後希望校が増え長良川鉄道だけでは対応が困難となってくるようであれば、バスの体験乗車等も検討していきたい。

・関市公共施設再配置計画では、今後小学校は統合していく可能性があり、登校でのスクールバスが協議されることになり、教育委員会が所管になると思うが、本会議の中に教育委員会関係者も入ってもらいたい。

(学識経験者) 学校統廃合は地域や、行政にとって非常にナーバスな問題でスクールバスでの登校等の検討をすると、統合ありきとなってしまうことから、統合が決まるギリギリまで公共交通と登校に関する協議時間が削られてしまい、結果、公共交通が衰退してしまう事例が全国に多くある。なので、公共交通が使えるところは使いながら、スクールバスを導入するにして

も、地域住民も利用できるような仕組みを検討していてもらいたい。

○市民・利用者代表A

・小さなお子さんや障がいを持つ人にとっては、公共交通が唯一の移動手段であることからある障がいをお持ちの方は、運転手さんに大変感謝している。体験乗車も大切だが、運転手の皆さんに対する交通弱者に対する研修も実施していただきたい。

(学識経験者) 他市では、バス事業者、市、障がい者団体で勉強会を実施しているところもあるので、関市でも実施すると良い。さらにその中に子供たちも入ることで、車いすの人達がどのように利用できるか知ることができ良い経験になる。

【採決】承認

議案第4号 令和5年度予算(案)

・議案第4号について説明(事務局)

【採決】承認

議案第5号 地域公共交通計画「別紙」(案)

・議案第5号について説明(事務局)

【採決】承認

■報告(進行 議長)

報告第1号 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

・報告第1号について説明(事務局)

■その他

■議事終了

■閉会